

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 戦争で真っ先に犠牲になるのは障がい者 新たな障がい者生みだす戦争は絶対いやだ！

### 感動的な辺野古ゲート前初の「障がい者のつどい」



門屋さん



成田さん



渡嘉敷さん

#### 県内外から約40名の障がい者・介助者が参加

辺野古ゲート前で7日、障がい者が中心となって新基地建設反対を訴える「障がい者辺野古のつどい」が初めて開かれました。国際障がい者週間（12月3〜9日）に呼応し、信州沖縄塾・門屋和子さんの呼びかけで企画され、SNSなどで全国に拡散され当日を迎えました。沖縄県内だけでなく東京、大阪、兵庫、愛媛県などから障がい者・介助者40人余が参加。車いすだけで10台以上がテント前に並び、座り込みに参加した約100人が耳を傾けました。実行委員会の門屋和子、成田正雄、渡嘉敷綾秀（すいしゅう）各共同代表が挨拶。渡嘉敷さんは「戦争によってさらに障がい者を生む。戦争につながる米軍基地はいらぬ」と訴えました。この後、障がい者が次々とリレートーク。重度障がい者の絞り出すような訴えに目頭を押さえる人も。歌やトルコ太鼓の演奏、三線と古武道など多彩な文化も披露され、明るく、エネルギーあふれる「つどい」となりました。門屋さんは「大成功でした。とても感動しました。来年ももっと輪を広げてぜひ開催したい」と話していました。

「今日の日はさようなら」をみんな  
で手をつないで歌ってフィナーレ



つどいでは歌や古武道などの文化も披露されました



重度障がいの木村浩子さんも訴えました。

#### 全国から約70通のメッセージ届く

「障がい者のつどい」ではヘリ基地反対協・安次富浩代表、「オール沖縄会議」・中村司事務局次長が連帯挨拶。「オール沖縄」の衆参の全国会議員、福島瑞穂、杉尾秀哉両参院議員、精神科医師・香山リカさん、辛淑玉さんなど著名人はじめ全国から寄せられた70通のメッセージがボードに掲示されました。中には「今回は準備できなかったが来年のつどいには参加したいです」という本土の障がい者からのメッセージもありました。

「障がい者のつどい」に寄せられた辛淑玉さんからのメッセージを紹介します。ここにいます。

かつて、校門の前で声を上げていた男の子は、とうとう公立の学校に入れなかった。「障害者」だから。

かつて、バスに乗ろうとした男の子は、みんなにはじき出された。

「車椅子」だったから。

かつて、恋をしたいと願った女の子は、子宮を取られた。

「生理のお世話が大変」だから

かつて、子供を産もうとした女性は悪魔と呼ばれた。

「健康な子供を産めない」から。

かつて、目の不自由な男性は、電車の扉付近に立ったとき、下車する乗客から殴られた。「犯人を特定」できないと値踏みされたから。

かつて、かつて、と言いたいが、これはかつての話ではない。

いまも、ある。

いまも、社会が障害なのだ。

戦争が起きたら、巻きこまれるのではない。隣人により殺されるのだ。

そう、自殺すら許されない、

できない人たちは殺されるしか無いのだ。だから、誰よりも、人殺しを憎む。

戦争をしてはいけない。

集まろう。ここに。

触れ合おう。ここで。

感じ合おう。命を。

社会が障害であるからこそ、

私たちは、集まろう。

国籍も、民族も、社会の障害を超えて、戦争は嫌だ。

足が不自由でも。器具と一緒に。

目が見えなくとも。声が発せなくとも。ここに生きています。

在日朝鮮人三世 辛淑玉（しんすご）

#### 欠陥機オスプレイ墜落から1年！

### 12・15 抗議集会

日時 12月15日（金）18：30～  
場所 名護市 21世紀の森屋内運動場  
主催・ 辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議

稲嶺ススム勝利！

日本共産党と

後援会の

決起集会

小池書記局長来る



12月17日（日）

午後2時

名護市・21世紀の森

体育館大集会場

主催・日本共産党沖縄県委員会・同北部地区委員会